

番号	28		
専門教育科目	共通科目	森林土木	
授業名	森林地質学	対象学年： 1 学年	単位数： 2 単位 講義形態： 講義
講義時期	後 期	実務経験教員による講義の有無： 有	備考：
担当講師	神林 清文 (地表踏査、ボーリング調査等の様々な地質調査の結果をもとに、土木、防災に関するコンサルタント業務を行なってきました。実務経験をもとに、具体的な事例を示し、現場で生かせる地質に関する知識を講義します。)		
授業の達成目標	①地質に関する基本的な知識を理解した上で、地質図を利活用できるようになる。 ②現地において、地質及び地形に関する調査方法について学び、その結果に基づき、地質や地形について、独自の考え方ができるようになる。		
概要	日本・中部地方及び長野県の地質について論ずる。次に、基本的な事項として、岩石、地層、岩石の風化、断層などの個別の事項について講義する。また、県内のフィールドにて野外実習を行なうとともに、土質・岩石試験、調査方法などについても学ぶ。		
テキスト	講師作成テキスト		
参考書	北澤秋司著 「治山・砂防学における災害地質学的調査法」 (藤原印刷出版部)		
事前事後の学習	事前学習については、各時間の最後に、次回までに学習してくるべき内容を示します。事後学習については、各時間の講義内容を復習するものとします。		
成績評価の基準	<p>評価については次の評価基準を基本としています。</p> <p>秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している (評点が95点以上で特に優秀な者)</p> <p>優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある (評点が80点以上95点未満の者)</p> <p>良：授業の達成目標の水準よりやや上にある (評点が70点以上80点未満の者)</p> <p>可：授業の達成目標の水準にある (評点が60点以上70点未満の者)</p> <p>不可：授業の達成目標の水準よりやや下にある (評点が60点未満の者)</p>		
成績評価の方法	履修態度および課題の提出物、期末テストの成績 成績の評価は100点法をもって行い、60点未満を不合格とします。 試験の成績が60点に達しないときは、原則として1回に限り追試験を認めます。		
メッセージ	テキスト及び参考書、平板・コンパス測量や三角法を理解しておく。岩石標本の作成方法、地質図の書き方を実践する。この場合、クリノメーターを使用、製図を行う三角定規を用意、関数の卓上計算機使用方法に習熟しておくこと。		
展 開	講義の展開		講義内容
1	導入	講義のガイダンス及び地質学習の導入	1. 講義ガイダンス、授業計画およびテキスト使用方法
2			2. 地質概論(地質に関する基礎的事項に関する)
3	論理と自然現象との関係を実践的に展開	中部地方及び長野県を中心に地質を解説	3. 日本・中部地方の地形地質
4			4. 長野県の地形地質
5		岩石と地層について解説	5. 岩石と地層
6		岩石の分類(標本を活用)	6. 岩石の分類(火成岩)
7			7. 岩石の分類(堆積岩、変成岩)
8		表層地質図について解説	8. 長野県の表層地質図
9		地質図の読み方と描き方を知り林木の立地条件の基礎を学ぶ	9. 表層地質調査法・図法(現地調査を実施)
10			10. 表層地質調査法・図法
11	応用・一般化	岩石の化学的・物理的な性質と風化について解説	11. 岩石の風化と風化作用
12		地形図及び地質図の利用方法について解説	12. 森林と地形地質
13		土木地質に実際に用いられる試験や調査手法について学ぶ	13. 土及び岩石の工学的性質(土質試験・岩石試験方法など)
14		14. 地質調査の方法とその利用	
15	評価	学習の整理を行い学習事項を確認する	15. 期末試験

番号	29		
専門教育科目	共通科目	森林土木	
授業名	治山工学	対象学年： 1学年	単位数： 2単位 講義形態： 講義
講義時期	前期	実務経験教員による講義の有無： 有	備考：
担当講師	渡澤 浩平 (県職員での業務経験を生かした基礎及び実践までの実務教育を行います。) 萩原 淳 (県職員での業務経験を生かした基礎及び実践までの実務教育を行います。)		
授業の達成目標	わが国は地形が急峻なうえ台風や梅雨前線による豪雨が多いため、山地災害が発生しやすい。森林の持つ災害防止機能や、災害により荒廃した森林の機能を回復するための方法を修得する。		
概要	山地災害が発生するメカニズム（素因・誘因）と、復旧方法について学習する。		
テキスト	講師作成テキスト		
参考書	担当職員作成プリント		
事前事後の学習	事前学習については、各時間の最後に、次回までに学習してきてべき内容を示します。事後学習については、各時間の講義内容を復習するものとします。		
成績評価の基準	評定については次の評価基準を基本としています。 秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している（評点が95点以上で特に優秀な者） 優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある（評点が80点以上95点未満の者） 良：授業の達成目標の水準よりやや上にある（評点が70点以上80点未満の者） 可：授業の達成目標の水準にある（評点が60点以上70点未満の者） 不可：授業の達成目標の水準よりやや下にある（評点が60点未満の者）		
成績評価の方法	原則として筆記試験及びレポート、履修態度による評価とする。試験成績の評定は100点法をもって行い、60点未満を不合格とする。試験の成績が60点に達しないときは、原則として1回に限り追試験を認めます。		
メッセージ	森林の持つ公益的機能とともに、各種の治山工学について基本的知識を身に付けよう。		
展開	講義名	講義内容	
1	はじめに	治山（保安林制度）の意義と歴史	
2	森林の荒廃	山地侵食と溪流荒廃	
3	〃	山崩れの分類と特徴	
4	〃	地すべりの分類と特徴	
5	〃	森林の土砂災害防止機能	
6	〃	森林の水源涵養機能と水の循環	
7	溪間工事	溪間工事の目的と計画	
8	〃	溪間工事の工法	
9	山腹工事	山腹工事の目的と計画	
10	〃	山腹工事の工法	
11	地すべり工事	地すべり工事の目的と計画	
12	〃	地すべり工事の工法	
13	治山工事の実際	施工中の治山現場から学ぶ治山工学	
14	〃	〃	
15	試験		

番号	30		
専門教育科目	共通科目	森林土木	
授業名	林道工学	対象学年： 2学年	単位数： 2単位 講義形態： 講義
講義時期	通年	実務経験教員による講義の有無： 有	備考：
担当講師	百瀬 浩行 (県職員での業務経験を生かした基礎及び実践までの実務教育を行います。)		
授業の達成目標	林道の森林法上の位置づけと役割を理解し、林道規定により構造的な理解ができるようになる。		
概要	林道の役割、構造について学ぶ。		
テキスト	林道規定、「森林科学」 文部科学省(実教出版)、森林施業プランナーテキスト改訂版		
参考書	教員作成プリント		
事前事後の学習	事前学習については、各時間の最後に、次回までに学習してくるべき内容を示します。事後学習については、各時間の講義内容を復習するものとします。		
成績評価の基準	<p>評価については次の評価基準を基本としています。</p> <p>秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している (評点が95点以上で特に優秀な者)</p> <p>優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある (評点が80点以上95点未満の者)</p> <p>良：授業の達成目標の水準よりやや上にある (評点が70点以上80点未満の者)</p> <p>可：授業の達成目標の水準にある (評点が60点以上70点未満の者)</p> <p>不可：授業の達成目標の水準よりやや下にある (評点が60点未満の者)</p>		
成績評価の方法	提出物、筆記試験及び履修態度による評価とする。試験成績の評価は100点法をもって行い、60点未満を不合格とする。試験の成績が60点に達しないときは、原則として1回に限り追試験を認めます。		
メッセージ	林道の様々な役割を学習すること。		
展開	講義名	講義内容	
1~2	林内路網の種類	林道の歴史的変遷と種類	
3~6	林道の構造	林道規定による設計根拠	
7~10	地域社会における林道の役割の実際	現地における講義	
10~14	路網配置の手順	現地踏査のポイント、概略線形測設 GISの活用による路網配置	
15	試験		

番号	31-1		
専門教育科目	共通科目	森林土木	
授業名	造園学	対象学年： 2学年	単位数： 2単位 講義形態： 講義
講義時期	通年	実務経験教員による講義の有無： 有	備考：
担当講師	宮入 賢一郎 (技術士およびR L A [登録ランドスケープアーキテクト]としての実務経験や国立長野高専(1998年度講師～2021年度客員教授)での指導経験を活かし、造園学に必要な知識と技術的な応用能力が習得できるよう実践的に指導します。)		
授業の達成目標	造園学における計画手法、設計技術、管理運営手法について、基礎的な知識や応用事例などに基づき、専門用語を適切に用いた説明や応用に関する工夫をレポート等で表現できることをもって、実践的で高度な技術の習得を目的とする。		
概要	『造園』を、ランドスケープという広い分野で捉え、自然と人工の調和を図りながら、さまざま社会活動を担うオープンスペースとしての社会基盤(インフラストラクチャ)の一般知識から植物などを中心とした自然素材を用いながら形成される自然環境・都市環境の構築技術を学ぶ。		
テキスト	高等学校用 「造園計画」 海文堂出版		
参考書	講師作成資料、「造園学概論」朝倉書店		
事前事後の学習	事前学習については、各時間の最後に、次回までに学習して行くべき内容を示します。事後学習については、各時間の講義内容を復習するものとします。		
成績評価の基準	<p>評価については次の評価基準を基本としています。</p> <p>秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している (評点が95点以上で特に優秀な者)</p> <p>優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある (評点が80点以上95点未満の者)</p> <p>良：授業の達成目標の水準よりやや上にある (評点が70点以上80点未満の者)</p> <p>可：授業の達成目標の水準にある (評点が60点以上70点未満の者)</p> <p>不可：授業の達成目標の水準よりやや下にある (評点が60点未満の者)</p>		
評価方法	試験による評価を70%、講義の途中段階で実施するレポートにより30%、成績の評定は100点法をもって行い、60点未満を不合格とします。試験の成績が60点に達しないときは、原則として1回に限り追試験を認めます。		
メッセージ	造園は、伝統的な技法のことだけを指すものではありません。授業では、森林風致や樹木素材を用いた造園から、都市内のさまざまなニーズに応える空間整備についても学習していきます。		
展開	講義名	講義内容	
1	造園学の概要	造園の定義と分類	
2	造園様式	伝統的、または近代的な造園様式	
3	作庭家・ランドスケーププランナー	先駆者の足跡から庭園デザイン手法を学ぶ	
4	環境、森林と造園	自然公園と自然保全関連施策	
5	造園材料	緑化樹および地被植物、耐環境性	
6	造園空間の機能(1)	景観形成機能、環境保全機能、生物生息空間、ビオトープ	
7	造園空間の機能(2)	レクリエーション、スポーツ、防災機能	
8	造園空間の利用とリスクマネジメント	造園空間における利用者の行動、災害時の役割	
9	造園空間のデザイン(1)	造園におけるデザインの基礎	
10	造園空間のデザイン(2)	色彩の基本・色彩計画	
11	公共空間の緑化	都市公園、道路、河川、工場、建築などの空間緑化	
12	維持管理	造園空間のメンテナンス・マネジメント技術	
13	最近の緑化技術	屋上緑化、壁面緑化、屋内緑化、自然再生	
14	市民参加手法	プランニングやメンテナンスへの市民参加手法	
15	試験		

番号	31-2		
専門教育科目	共通科目	森林土木	
授業名	造園学 実習	対象学年： 2学年	単位数： 1単位 講義形態： 実習
講義時期	通 年	実務経験教員による講義の有無： 有	備考：
担当講師	宮入 賢一郎 (技術士およびR L A [登録ランドスケープアーキテクト]としての実務経験や国立長野高専(1998年度講師～2021年度客員教授)での指導経験を活かし、造園学に必要な知識と技術的な应用能力が習得できるよう実践的に指導します。)		
授業の達成目標	オープンスペースとしての都市公園などをテーマにして、デザインやコミュニケーションに関する手法を用いながら、オリジナルな造園計画・設計の制作ができることをもって、実践的で高度な実技習得を目的とする		
概要	講義により得た知識を基礎とし、実習型、ワークショップ形式などを取り入れた計画・設計を演習し、計画・設計図を作成する		
テキスト	講師の作成した資料		
参考書	「ランドスケープデザイン」 八木健一著 学芸出版社		
事前事後の学習	事前学習については、各時間の最後に、次回までに学習してこべき内容を示します。事後学習については、各時間の講義内容を復讐するものとします。		
成績評価の基準	<p>評価については次の評価基準を基本としています。</p> <p>秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している (評点が95点以上で特に優秀な者)</p> <p>優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある (評点が80点以上95点未満の者)</p> <p>良：授業の達成目標の水準よりやや上にある (評点が70点以上80点未満の者)</p> <p>可：授業の達成目標の水準にある (評点が60点以上70点未満の者)</p> <p>不可：授業の達成目標の水準よりやや下にある (評点が60点未満の者)</p>		
評価方法	作成経過(プランニング、プレゼンテーションなど)をレポートにより評価し50%、計画・設計図面としての成果を50%として評価する。成績の評定は100点法をもって行い60点未満を不合格とします。		
メッセージ	利用者が楽しめる空間整備を目指して、コンセプトづくりやデザインを学習しながら進めていきます。		
展 開	講義名	講義内容	
1～2	造園計画・設計の概要とテーマ設定実習	計画・設計の進め方 敷地分析、条件設定	
3～5	基本方針の設定実習	設計目標となるコンセプト作成 空間構成(ゾーニング、動線計画)	
6～8	導入施設検討実習	導入すべき施設の検討	
9～10	計画平面図作成演習	計画平面図を作成	
11～12	設計演習	敷地造成、設備、構造物の具体化	
13～14	樹林型園地、都市型園地の整備手法	演習問題により整備手法を具体化	
15	プレゼンテーション	作品の発表および自己評価	

番号	32-1		
専門教育科目	共通科目	森林土木	
授業名	測量学	対象学年： 1学年	単位数： 2単位 講義形態： 講義
講義時期	通年	実務経験教員による講義の有無： 有	備考：
担当講師	萩原 淳 (県職員の経験を生かした基礎及び実践までの実務教育を行います。)		
授業の達成目標	森林調査に必要なとなる測量手法を総合的に習得する。		
概要	地形測量を中心に各測量手法について学ぶ		
テキスト	「測量」(工業335) 実教出版、講師作成資料		
参考書	「森林林業セミナーテキスト」測量・測樹 コンパス測量の項(長野県)		
事前事後の学習	事前学習については、各時間の最後に、次回までに学習して来るべき内容を示します。 事後学習については、各時間の講義内容を復習するものとします。		
成績評価の基準	<p>評価については次の評価基準を基本としています。</p> <p>秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している(評点が95点以上で特に優秀な者)</p> <p>優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある(評点が80点以上95点未満の者)</p> <p>良：授業の達成目標の水準よりやや上にある(評点が70点以上80点未満の者)</p> <p>可：授業の達成目標の水準にある(評点が60点以上70点未満の者)</p> <p>不可：授業の達成目標の水準よりやや下にある(評点が60点未満の者)</p>		
成績評価の方法	1)成果品、2)レポート、3)筆記試験、4)履修態度の総合で100点法をもって評価し、60点未満を不合格とする。試験の成績が60点に達しないときは、原則として1回に限り追試験を認めます。		
メッセージ	配布プリントの整理、ノート記録、復習をしっかりとすること。		
展開	講義名	講義内容	
1~2	測量概論 誤差論	1) 測量の歴史 2) 測量の分類とその仕組み 3) 誤差の種類 4) 測定値の計算処理	
3	距離測量	1) 距離の測定 2) 測距器械による距離の測定	
4~7	コンパス測量	1) 方位角、緯距・経距、閉合誤差、閉合比 2) 磁針の偏差	
8~10	水準(レベル)測量	1) レベル測量の概要 2) 昇降式・器高式測量	
11~12	角測量	1) 角測量と測角 2) 据付と視準 3) 角測定における誤差	
13	レーザーコンパス測量	1) レーザーコンパス測量の概要と手法	
14	復習・まとめ		
15	試験		

番号	32-2		
専門教育科目	共通科目	森林土木	
授業名	測量学 実習	対象学年： 2 学年	単位数： 1 単位 講義形態： 実習
講義時期	通 年	実務経験教員による講義の有無： 有	備考：
担当講師	萩原 淳 (県職員の経験を生かした基礎及び実践までの実務教育を行います。)		
授業の達成目標	実際の森林内で測量器具の取り扱いが円滑に行える技術を習得する。		
概要	講義の内容を野外で実践し、技術を習得する。		
テキスト	「測量」(工業335) 実教出版、 講師作成資料		
参考書			
事前事後の学習	実習に備え十分な事前準備を行うこと。		
成績評価の基準	<p>評定については次の評価基準を基本としています。</p> <p>秀 : 授業の達成目標の水準から見て卓越している (評点が95点以上で特に優秀な者)</p> <p>優 : 授業の達成目標の水準よりかなり上にある (評点が80点以上95点未満の者)</p> <p>良 : 授業の達成目標の水準よりやや上にある (評点が70点以上80点未満の者)</p> <p>可 : 授業の達成目標の水準にある (評点が60点以上70点未満の者)</p> <p>不可 : 授業の達成目標の水準よりやや下にある (評点が60点未満の者)</p>		
成績評価の方法	1)実技、2)成果品、3)報告書、4)筆記試験、5)履修態度、6)出席時間の総合で100点法をもって評価し、60点未満を不合格とする。		
メッセージ	講義の内容を復習・確認しながら、実習に臨むこと。Excelの使い方に慣れておくこと。		
展 開	講義名	講義内容	
1	距離測量	1)各種方法による平面測量	
2~6 14~15	コンパス測量	1)コンパス測量の概要 2)コンパス測量 3)山地測量、踏査 4)内業、図化 5)誤差修正、再測 6)求積 7)山腹縦断面図作成	
7~10	水準(レベル)測量	1)水準測量の概要 2)野帳の整理方法 3)横断測量、縦断測量	
11~12	角測量	1)トランシット測量の概要 2)トランシットの取り扱い 3)角測量	
13	レーザーコンパス測量	1)機械操作方法 2)トラバース測量	

番号	33		
専門教育科目	共通科目	景観・保健	
授業名	森林風致計画学	対象学年： 2学年	単位数： 2単位 講義形態： 講義
講義時期	後期（集中）	実務経験教員による講義の有無： 有	備考：
担当講師	森本 幸裕 （約20年に及ぶ京都市美観風致審議会委員、及び10年継続している公益財団法人京都市都市緑化協会理事長としての経験を生かした豊富な事例をもとに指導します）		
授業の達成目標	景観生態学的観点から、結果としての森林景観の理解を深め、森林風致の計画とマネジメント能力を養う。		
概要	森林風致に関わる主要概念とその原点、現代的課題とその対応事例を紹介し、風致計画能力を高める課題に取り組む。		
テキスト	「景観の生態史観—攪乱が再生する豊かな大地」森本幸裕編著、京都通信社		
参考書			
事前事後の学習	事前学習については、各時間の最後に、次回までに学習してくるべき内容を示します。事後学習については、各時間の講義内容を復習するものとします。		
成績評価の基準	<p>評価については次の評価基準を基本としています。</p> <p>秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している（評点が95点以上で特に優秀な者）</p> <p>優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある（評点が80点以上95点未満の者）</p> <p>良：授業の達成目標の水準よりやや上にある（評点が70点以上80点未満の者）</p> <p>可：授業の達成目標の水準にある（評点が60点以上70点未満の者）</p> <p>不可：授業の達成目標の水準よりやや下にある（評点が60点未満の者）</p>		
成績評価の方法	原則として筆記試験及び履修態度による評価とする。試験成績の評定は100点法をもって行い、60点未満を不合格とする。試験の成績が60点に達しないときは、原則として1回に限り追試験を認めます。		
メッセージ	森林景観の魅力の本質を認識して、自分自身の考えと確かな技術を持ち、現実の森林で応用できる人になって下さい。		
展開	講義名	講義内容	
1	導入：風致景観とは	森林風致の景観生態学的な見方を解説	
2	京都の景観	京都三山を例に「千年の都」の風致景観の構造を検討	
3	自然景観論（1）	風致景観の原点としてのウィルダネス：保護と保全の対立	
4	自然景観論（2）	我が国における自然公園の変遷：風景保護と自然保護	
5	自然景観論（3）	自然景観の本質としてのフラクタルを解説	
6	里地里山の風致景観（1）	もうひとつの世界遺産：世界農業遺産を紹介	
7	里地里山の風致景観（2）	にほんの里100選の視点（景観、生物多様性、人の営み）	
8	風致景観の評価	環境アセスメントにおける風致景観への影響と緩和の方法	
9	癒しの風致景観（1）	フンババの森から森林保護の原点を考える	
10	癒しの風致景観（2）	鎮守の森とその現代的意義を探る	
11	癒しの風致景観（3）	緑の癒し機能のエビデンスと応用	
12	癒しの風致景観（4）	瀟湘八景から現代の八景論へ	
13	景観行政（1）	林野庁、環境省関連の景観行政の紹介	
14	景観行政（2）	文化庁、国土交通省関連の景観行政の紹介	
15	試験		

番号	34		
専門教育科目	共通科目	景観・保健	
授業名	労働安全	対象学年： 2学年	単位数： 2単位 講義形態： 講義
講義時期	後期	実務経験教員による講義の有無： 有	備考：
担当	大屋 博利 (林材業労災防止協会指導員の経験を生かし、林業現場に必要な安全力とコミュニケーションスキルを身に着けられるように指導します)		
授業の達成目標	①林業作業における安全の基礎と、自己の健康管理に必要な基礎を理解し習得している ②労働災害の原因及び森林整備作業における危険回避のポイントを理解し、その実行に必要な基礎力・基本姿勢を習得している		
概要	安全作業の必要性を理解し、作業における安全の基礎を習得する		
テキスト	「はじめて林業に携わる者のための安全な作業の基本」 林業・木材製造業労働災害防止協会 「改訂2版 伐木等作業用チェーンソー作業の安全ナビ」 「安全な刈払機作業のポイント」		
参考書	担当講師作成資料		
事前事後の学習	事前学習については、各時間の最後に、次回までに学習してくるべき内容を示します。 事後学習については、各時間の講義内容を復習するものとする。		
成績評価の基準	<p>評価については次の評価基準を基本としています。</p> <p>秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している (評点が95点以上で特に優秀な者)</p> <p>優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある (評点が80点以上95点未満の者)</p> <p>良：授業の達成目標の水準よりやや上にある (評点が70点以上80点未満の者)</p> <p>可：授業の達成目標の水準にある (評点が60点以上70点未満の者)</p> <p>不可：授業の達成目標の水準よりやや下にある (評点が60点未満の者)</p>		
成績評価の方法	原則として、筆記試験及びレポートによる評価とする。試験成績の評価は100点法をもって行い、60点未満を不合格とする。 試験の成績が60点に達しないときは、原則として1回に限り追試験を認める。		
メッセージ	林業労働災害ゼロを目指しましょう		
展開	講義名	講義内容	
1・2	林業における労働災害	林業における労働災害	
3	労働安全衛生関係関係法令	林業に関係する労働安全衛生関係関係法令	
4	健康管理	①屋外労働と健康管理 ②危険生物と熱中症対策	
5～7	現場作業における安全力	①林業現場における安全確保への意識づけ、実行しようとする姿勢 ②コミュニケーションの重要性 ③安全と生産性・作業効率の両立	
8・9	安全衛生管理	①リスクアセスメント ②災害発生対応 ③危険予知ミーティング	
10～12	林業現場での労働災害	①林業現場でのヒヤリハット報告 ②グループ討議 ③リスクアセスメント活動	
13・14	現場作業における総合力	①現場作業における総合力を高めるコミュニケーション技術 (グループ討議) ②安全作業改善の工夫と効果 (グループ討議) ③作業計画・技術・生産面改善の工夫と効果 (グループ討議)	
15	試験		

番号	35		
専門教育科目	共通科目	景観・保健	
授業名	救急救命	対象学年： 1 学年	単位数： 1 単位 講義形態： 実習
講義時期	通 年	実務経験教員による講義の有無： 有	備考：
担当講師	竹脇 恵美 (日本赤十字社の指導員として、救急法基礎講習及び救急法救急員の資格取得のため必要なスキルを身に付けられるように指導します。)		
授業の達成目標	赤十字の理念と使命に基づき、不慮の事故や急病に対する手当ができる		
概要	災害・交通事故・急病はいつ、私たちの身に襲いかかってくるかわからないが、近くに居合わせた人が正しく応急手当を行い、医師や救急隊員に引き継ぐことが出来ればけが人や急病人の、傷病を最小限に食い止めることが可能となる。 事故防止と、万が一の緊急時に必要な手当ができるように、そして安全で健康な生活を送ることができるように本科目では、正しい知識と技術を身につけることを目的とする。		
テキスト	赤十字救急法基礎講習教本、赤十字救急法講習教本		
参考書			
事前事後の学習	事前学習については、各時間の最後に、次回までに学習してくるべき内容を示します。事後学習については、各時間の講義内容を復習するものとします。		
成績評価の基準	<p>評価については次の評価基準を基本としています。</p> <p>秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している (評点が95点以上で特に優秀な者)</p> <p>優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある (評点が80点以上95点未満の者)</p> <p>良：授業の達成目標の水準よりやや上にある (評点が70点以上80点未満の者)</p> <p>可：授業の達成目標の水準にある (評点が60点以上70点未満の者)</p> <p>不可：授業の達成目標の水準よりやや下にある (評点が60点未満の者)</p>		
成績評価の方法	全日程出席者に対し、初日及び最終日に検定を行い、学科及び実技試験100点中8割の理解で合格とする。		
メッセージ	受講生は、実技のできる服装で出席すること。		
展 開	講義名	講義内容	
救急法基礎講習	赤十字救急法について	赤十字救急法とは 傷病者への接し方 救急法を実施する際の心得 現場での留意点 手当の基本 ショックについて	
	一次救命処置	一次救命処置とは 人工呼吸 一次救命処置の手順 胸骨圧迫 心肺蘇生とは AEDを用いた除細動 気道確保 気道異物の除去	
救急法救急員養成講習	赤十字救急法救急員について	赤十字救急法救急員とは 赤十字救急法救急員に求められる能力	
	急病	心臓発作 熱中症 脳卒中 呼吸困難 急性腹症 低血糖・アナフィラキシー 痙攣 中毒	
	けが	けがに対する応急手当の必要性 きず 各部のけが 骨折 特殊なけが	
	きずの手当	止血 (直接圧迫止血法・止血帯止血法) 包帯 (三角巾による包帯)	
	骨折の手当	固定 打撲の手当 各部の骨折の手当 肉離れの手当 脱臼の手当 アキレス腱の断裂の手当 捻挫の手当 突き指の手当	
	搬送	搬送の必要性 搬送方法 特殊な状況での傷病者の移動の方法	
	救護	災害時の心得	

番号	36-1		
専門教育科目	共通科目	森林機械	
授業名	林業機械学	対象学年： 1学年	単位数： 2単位 講義形態： 講義
講義時期	通年	実務経験教員による講義の有無： 有	備考：
担当講師	巾下 正一 (林材業労災防止協会指導員の経験を生かし、林業機械操作に必要な知識・技術を身に 着けられるように指導します。) 百瀬 浩行 (県職員での業務経験を生かした基礎及び実践までの実務教育を行います。) 		
授業の 達成目標	チェーンソー及び刈払い機について安全動作の確保と正確な操作技術を習得する。		
概 要	チェーンソー・刈払機の構造及び操作方法について学ぶと共に、チェーンソー作業従事者特別教育及び刈払機取扱作業安全教育を修了させる。		
テキスト	「はじめて林業に携わる者のための安全な作業の基本」林業・木材製造業労働災害防止協会 「改訂2版 伐木等作業用チェーンソー作業の安全ナビ」 「安全な刈払機作業のポイント」		
参 考 書			
事前事後 の 学 習	事前学習については、各時間の最後に、次回までに学習してくるべき内容を示します。事後学習については、各時間の講義内容を復習するものとします。		
成績評価 の 基 準	評定については次の評価基準を基本としています。 秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している (評点が95点以上で特に優秀な者) 優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある (評点が80点以上95点未満の者) 良：授業の達成目標の水準よりやや上にある (評点が70点以上80点未満の者) 可：授業の達成目標の水準にある (評点が60点以上70点未満の者) 不可：授業の達成目標の水準よりやや下にある (評点が60点未満の者)		
成績評価 の 方 法	原則として筆記試験及び履修態度による評価とする。試験成績の評定は100点法をもって行い、60点未満を不合格とする。試験の成績が60点に達しないときは、原則として1回に限り追試験を認めます。		
メッセージ	林業機械を安全に操作できるような知識を習得しましょう。		
展 開	講義名	講義内容	
1	はじめに	・はじめて林業に携わるにあたって	
2~4	チェーンソー作業従事者特別教育 ・伐木等作業に関する知識	・伐倒の方法 ・伐倒の合図 ・退避の方法 ・かかり木の種類及びその処理 ・造材の方法 ・下肢の切創防止用保護衣の着用	
5~7	チェーンソー作業従事者特別教育 ・チェーンソーに関する知識 (一部トップガン研修で実施)	・チェーンソーの種類 ・構造及び取扱い方法 ・チェーンソーの点検及び整備方法 ・チェーンソーの目立ての方法	
8・9	チェーンソー作業従事者特別教育 ・振動障害及びその予防に関する知識 ・関係法令	・振動障害の原因及び症状 ・振動障害の予防措置 ・法令及び安衛則中の関係条項	
10	採材の方法	・取扱い及び作業実習	
11~13	刈払機取扱作業安全教育	・刈払機に関する知識 ・刈払機を使用する作業に関する知識 ・振動障害及びその予防に関する知識 ・関係法令	
14	刈払機取扱作業安全教育	・刈払機の点検及び整備に関する知識	
15	試験		

番号	36-2		
専門教育科目	共通科目	森林機械	
授業名	林業機械学 実習1	対象学年： 1学年	単位数： 2 1/3単位 講義形態： 実習
講義時期	通 年	実務経験教員による講義の有無： 有	備考：
担当講師	巾下 正一 (林業労働災害防止協会指導員の経験を生かし、林業機械操作に必要な知識・技術を身に 着けられるように指導します。) 百瀬 浩行 (県職員での業務経験を生かした基礎及び実践までの実務教育を行います。) 担当指導員		
授業の 達成目標	林業機械による作業を、能率的かつ安全に行うために必要な知識と技術を習得する		
概 要	刈払機、チェーンソーの構造、メンテナンス及び操作方法について学ぶ		
テキスト	「はじめて林業に携わる者のための安全な作業の基本」 林業・木材製造業労働災害防止協会 「改訂2版 伐木等作業用チェーンソー作業の安全ナビ」 // 「安全な刈払機作業のポイント」 // 「小型移動式クレーン運転者教本」、「玉掛け作業教本」 (一社)全国登録教習機関協会		
参 考 書			
事前事後 の 学 習	実習に備え十分な事前準備を行うこと。		
成績評価 の 基 準	評価については次の評価基準を基本としています。 秀 : 授業の達成目標の水準から見て卓越している (評点が95点以上で特に優秀な者) 優 : 授業の達成目標の水準よりかなり上にある (評点が80点以上95点未満の者) 良 : 授業の達成目標の水準よりやや上にある (評点が70点以上80点未満の者) 可 : 授業の達成目標の水準にある (評点が60点以上70点未満の者) 不可 : 授業の達成目標の水準よりやや下にある (評点が60点未満の者)		
成績評価 の 方 法	実技試験 50%、履修態度 40%、出席時間(態度良に限る) 10%		
メッセージ	林業機械を安全に操作できるような知識・技能を習得する。		
展 開	講義名	講義内容	
1~3	チェーンソー作業従事者特別教育 ・チェーンソーの点検及び整備	・チェーンソーの点検及び整備の方法 ・チェーンソーの目立ての方法	
4・5	チェーンソー作業従事者特別教育 ・チェーンソーの操作	・基本操作 ・応用操作	
6・7	有識者から学ぶトップガン講習①	・チェーンソーの点検及び整備、目立ての方法を有識者から学ぶトップガン講習	
8~11	チェーンソー作業従事者特別教育 ・伐木等の方法	・伐木の方法 ・かかり木の処理方法 ・造材の方法 ・下肢の切創防止用保護衣の着用	
12~15	有識者から学ぶトップガン講習②	チェーンソーの安全操作・正確な伐倒技術を最高レベルの技術者から学ぶトップガン講習・実技レベル確認	
16~35	免許取得	小型移動式クレーン技能講習、玉掛け技能講習	

番号	36-3		
専門教育科目	共通科目	森林機械	
授業名	林業機械学 実習 2-①	対象学年： 2 学年	単位数： 2 4/5単位 講義形態： 実習
講義時期	通 年	実務経験教員による講義の有無： 有	備考：
担当講師	林業大学校教授 担当指導員		
授業の達成目標	伐木・造材作業に関する知識・作業方法及び安全かつ能率的に行うための必要な知識・技術及び関係資格を習得する。		
概要	伐木・造材作業で木材生産現場で使用する機械についての操作方法及び安全作業を学ぶ。		
テキスト	「改訂 2 版伐木等作業用チェーンソー作業の安全ナビ」 林業・木材製造業労働災害防止協会他独自教材		
参考書			
事前事後の学習	実習に備え十分な事前準備を行うこと。		
成績評価の基準	<p>評価については次の評価基準を基本としています。</p> <p>秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している（評点が95点以上で特に優秀な者）</p> <p>優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある（評点が80点以上95点未満の者）</p> <p>良：授業の達成目標の水準よりやや上にある（評点が70点以上80点未満の者）</p> <p>可：授業の達成目標の水準にある（評点が60点以上70点未満の者）</p> <p>不可：授業の達成目標の水準よりやや下にある（評点が60点未満の者）</p>		
成績評価の方法	1) 報告書(レポート)、2) 履修態度、3) 修習得度：60%、出席時間(態度良に限る)：40%とし、試験成績の評定は100点法をもって行い、60点未満を不合格とする。		
メッセージ	林業機械を安全に操作できるような知識を習得する。		
展 開	講義名	講義内容	
1~4	高性能林業機械の基礎知識と作業システム	高性能林業機械の基礎知識と間伐等の作業システムを学ぶ	
5~8	チェーンソー安全動作の取得と正確なチェーンソー技術について学ぶ	日本有数の技術者からのトップガン講習及び最新装置を活用して、より安全動作と正確なチェーンソー技術を学ぶ	
9~12	高性能林業機械操作実習	伐木等機械（プロセッサ等）、走行集材機械（フォワーダ等）、簡易・架線集材装置（タワーヤーダ・架線集材器等）等について現場での操作実習	
13~42	伐木・造材作業を現地にて総合的に実施し、安全に配慮した実践的な技術を習得する	現地にて、伐木造材作業に関する一連の安全確認、基本動作及び禁止事項の確認、危険回避等技術・技能の習得、機械・道具・手工具等の取扱いや整備等を実習する	

番号	36-4		
専門教育科目	共通科目	森林機械	
授業名	林業機械学 実習2-②	対象学年： 2学年	単位数： 4 2/3単位 講義形態： 実習
講義時期	通年(集中)	実務経験教員による講義の有無： 有	備考：
担当講師	巾下 正一 (林材業労災防止協会指導員の経験を生かし、高性能林業機械操作に必要な知識・技術を身に付けられるように指導します。) 担当指導員		
授業の達成目標	高性能林業機械等の知識・操作方法及び作業システムを習得、能率的かつ安全に作業を行うために必要な知識・技術を習得し、関係資格を取得する。		
概要	木材生産現場で使用する高性能林業機械についての操作方法及び作業システムを学ぶ。		
テキスト	「車両系林業機械安全マニュアル」 林業・木材製造業労働災害防止協会 「車両系建設機械運転者教本(整地・運搬・積込み用及び掘削用)」 (一社)全国登録教習機関協会 「不整地運搬車運転者教本」 建設業労働災害防止協会 「フォークリフト運転者教本」 (一社)全国登録教習機関協会		
参考書			
事前事後の学習	実習に備え十分な事前準備を行うこと。		
成績評価の基準	評価については次の評価基準を基本としています。 秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している (評点が95点以上で特に優秀な者) 優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある (評点が80点以上95点未満の者) 良：授業の達成目標の水準よりやや上にある (評点が70点以上80点未満の者) 可：授業の達成目標の水準にある (評点が60点以上70点未満の者) 不可：授業の達成目標の水準よりやや下にある (評点が60点未満の者)		
成績評価の方法	規定時間の受講及び資格取得で評価する。		
メッセージ			
展開	講義名	講義内容	
1~10	免許取得 (高性能林業機械操作講習)	<input type="checkbox"/> 伐木等機械(プロセッサ等)の運転業務 <input type="checkbox"/> 走行集材機械(フォワーダ等)の運転業務 <input type="checkbox"/> 簡易架線集材装置(タワーヤダ等)の運転業務に係る特別教育(講習)	
11~22	免許取得 (高性能林業機械操作実習)	<input type="checkbox"/> 伐木等機械(プロセッサ等)の運転業務 <input type="checkbox"/> 走行集材機械(フォワーダ等)の運転業務 <input type="checkbox"/> 簡易架線集材装置(タワーヤダ等)の運転業務に係る特別教育(実習)	
23~42	免許取得	車両系建設機械運転技能講習	
43~50	免許取得	不整地運搬車運転技能講習	
51~70	免許取得	<input type="checkbox"/> フォークリフト運転技能講習 <input type="checkbox"/> はい作業従事者安全衛生教育	

番号	37-1		
専門教育科目	共通科目	森林機械	
授業名	林業架線学	対象学年： 2 学年	単位数： 4 4/5単位 講義形態： 講義
講義時期	通 年	実務経験教員による講義の有無： 有	備考：
担当講師	市原 満 (県試験研究機関勤務の経験を生かした基礎及び実践までの実務教育を行います。)		
授業の達成目標	厚生労働省労働基準局長が定める林業架線作業主任者免許を取得するための知識を習得する。		
概要	林業架線作業に必要な学科		
テキスト	「林業架線作業主任者テキスト」 林業・木材製造業労災防止協会		
参考書			
事前事後の学習	事前学習については、各時間の最後に、次回までに学習してこべき内容を示します。 事後学習については、各時間の講義内容を復習するものとします		
成績評価の基準	<p>評定については次の評価基準を基本としています。</p> <p>秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している (評点が95点以上で特に優秀な者)</p> <p>優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある (評点が80点以上95点未満の者)</p> <p>良：授業の達成目標の水準よりやや上にある (評点が70点以上80点未満の者)</p> <p>可：授業の達成目標の水準にある (評点が60点以上70点未満の者)</p> <p>不可：授業の達成目標の水準よりやや下にある (評点が60点未満の者)</p>		
成績評価の方法	試験成績の評定は筆記試験により各科目100点法をもって行い、各科目の得点が40点以上であって、かつ全科目の平均得点が60点以上を合格とする。		
メッセージ	林業の現場において、「林業架線作業主任者免許」は重要かつ有益な資格ですので頑張って取得しましょう。		
展 開	講義名	講義内容	
1	機械集材装置および運材索道に関する知識	1) 機械集材装置の集材機、搬器、支柱及び附属器具 2) 機械集材装置の索張り方式 3) 運材索道の運材機、搬器、支柱および附属器具 4) 運材索道の種類 5) 鋼索 6) 最大張力の算定 7) 主索の検定	
2	林業架線作業に関する知識	1) 機械集材装置・運材索道の組立て、解体等の方法 2) 集材方法 3) 運材方法	
3	林業架線作業に必要な力学に関する知識	1) 力(つりあい、合成、分解およびモーメント) 2) 重量及び重心 3) 滑車 4) 速度および加速度 5) 荷重、応力、材料の強さおよび安全係数	
4	関係法令	労働安全衛生法(昭和47年法律第57号)、労働安全衛生法施行令(昭和47年政令第318号)及び労働安全衛生規則中の関係条項	

番号	37-2		
専門教育科目	共通科目	森林機械	
授業名	林業架線学 実習	対象学年:	2学年
		単位数:	2 4/15単位
講義形態:	実習		
講義時期	通年	実務経験教員による講義の有無:	有
		備考:	
担当講師	巾下 正一 (林材業労災防止協会指導員の経験を生かし、林業架線作業主任者に必要なスキルを身に付けられるように指導します。)		
授業の達成目標	厚生労働省労働基準局長が定める林業架線作業主任者免許を取得するための実技を習得する。		
概要	林業架線作業に必要な実技		
テキスト	「林業架線作業主任者テキスト」 林業・木材製造業労災防止協会		
参考書			
事前事後の学習	実習に備え十分な事前準備を行うこと。		
成績評価の基準	評定については次の評価基準を基本としています。 秀 : 授業の達成目標の水準から見て卓越している (評点が95点以上で特に優秀な者) 優 : 授業の達成目標の水準よりかなり上にある (評点が80点以上95点未満の者) 良 : 授業の達成目標の水準よりやや上にある (評点が70点以上80点未満の者) 可 : 授業の達成目標の水準にある (評点が60点以上70点未満の者) 不可 : 授業の達成目標の水準よりやや下にある (評点が60点未満の者)		
成績評価の方法	1)実技、2)レポート、3)実技試験、4)履修態度、の総合で100点法をもって評価します。		
メッセージ	林業の現場において、「林業架線作業主任者免許」は重要かつ有益な資格ですので頑張って取得しましょう。		
展開	講義名	講義内容	
1	索張りおよび控えのとり方並びに点検	1) 索の張り方 2) 控えのとり方 3) 主索、えい索、作業索、控索、台付け索および荷吊り索の点検	
2	支柱、盤台等の作り方および点検	1) 支柱の建て方および点検 2) アンカーのとり方および点検 3) 盤台の作り方および点検	
3	機械集材装置および運材索道の主要機器の据付方法及び点検	1) 集材機のすえ付け方法および点検 2) 運材機のすえ付け方法および点検 3) 制動機のすえ付け方法および点検 4) 搬器の点検 5) 附属器具の点検	
4	主索の安全係数の点検	1) 主索の緊張度の検定 2) 主索の張力の検定	
5	鋼索の止め方および継ぎ方	1) 鋼索の止め方 2) 鋼索の継ぎ方 3) 鋼索の種類および取扱い	
6	重量目測	重量目測	
7	荷かけおよび荷はずし	1) 荷かけの方法 2) 荷はずしの方法 3) 合図 4) 危険区域	
8	運転実習	運転操作	



番号	39-1		
専門教育科目	共通科目	林産	
授業名	木材加工学	対象学年： 1 学年	単位数： 2 単位 講義形態： 講義
講義時期	後 期	実務経験教員による講義の有無： 有	備考：
担当講師	吉田 孝久 橋爪 丈夫 (元長野県林業総合センター木材部職員の経験を生かした基礎及び実践までの実務教育を行います。)		
授業の達成目標	一般的な木材加工技術のみならず、さまざまな新しい木製品開発に関われる技術を身につける		
概要	木材の加工機械、加工方法、利用方法などについて学ぶ		
テキスト	林産物利用（農業316）		
参考書	その都度、講師が必要に応じて紹介します。		
事前事後の学習	事前学習については、各時間の最後に、次回までに学習してきてべき内容を示します。事後学習については、各時間の講義内容を復習するものとします。		
成績評価の基準	<p>評価については次の評価基準を基本としています。</p> <p>秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している（評点が95点以上で特に優秀な者）</p> <p>優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある（評点が80点以上95点未満の者）</p> <p>良：授業の達成目標の水準よりやや上にある（評点が70点以上80点未満の者）</p> <p>可：授業の達成目標の水準にある（評点が60点以上70点未満の者）</p> <p>不可：授業の達成目標の水準よりやや下にある（評点が60点未満の者）</p>		
成績評価の方法	原則としてレポート及び履修態度による評価とする。成績の評定は100点法をもって行い、60点未満を不合格とする。成績評定が60点に達しないときは、原則として1回に限り追試験を認める。		
メッセージ	木材の様々な加工方法を学ぶことで、木材利用の可能性に思いを巡らせる機会となり、創造力を持って未来の木材需要を生み出してください。		
展 開	講義名	講義内容	
1. 2	製材と木材加工	製材機械と製材作業、加工機械と工作	
3. 4. 5	木材の乾燥	乾燥に伴う形質変化、木材乾燥の方法	
6. 7	木材の保存	防腐、防虫、防火	
8. 9. 10. 11	改良木材	合板、集成材、木質ボード類	
12. 13	木材の化学加工	化学修飾、複合材料等、接着剤と接着法、木材パルプ等	
14	木造建築	在来軸組構法の構造と部材名、設計の概略、他の木質構法	
15	試験		

番号	39-2		
専門教育科目	共通科目	林産	
授業名	木材加工学 実習	対象学年： 2 学年	単位数： 1 単位 講義形態： 実習
講義時期	通年（集中）	実務経験教員による講義の有無： 有	備考：
担当講師	山内 仁人 (県試験研究機関勤務の経験を生かした基礎及び実践までの実務教育を行います。)		
授業の達成目標	木材の性質および木材加工技術の概要について、実習を通じて理解する		
概要	木材の加工には木材の性質が反映されるので、講義で学んだ知識を木材加工へ活かす。		
テキスト	担当教職員作成プリントほか		
参考書			
事前事後の学習	実習に備え十分な事前準備を行うこと。また、実習後にはレポートを作成してください。		
成績評価の基準	<p>評定については次の評価基準を基本としています。</p> <p>秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している（評点が95点以上で特に優秀な者）</p> <p>優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある（評点が80点以上95点未満の者）</p> <p>良：授業の達成目標の水準よりやや上にある（評点が70点以上80点未満の者）</p> <p>可：授業の達成目標の水準にある（評点が60点以上70点未満の者）</p> <p>不可：授業の達成目標の水準よりやや下にある（評点が60点未満の者）</p>		
成績評価の方法	1)実技、2)成果品、3)報告書等、4)履修態度の修習得度60%、出席時間(態度良に限る)40%		
メッセージ	作業の安全性を重視するとともに、どのようにすれば「効率よく、精度の高い仕事ができるのか」という”知恵”を涵養する。知識と知恵の両立を図る。		
展開	講義名	講義内容	
1	プランニング	1)アイディアスケッチ、図化と木拾い 2)木材加工からみた木材の性質	
2	集成材の作成	1)ラミナ仕上げ(モルダーがけ) 2)接着材塗布 3)プレス加工 4)板に製材	
3	木材加工	1)切削加工 2)接着加工 3)接合と組立 4)作業の安全性 5)作業の精度と効率性	
4	木材加工工場見学		

番号	40-1		
専門教育科目	共通科目	林産	
授業名	特用林産学	対象学年： 1学年	単位数： 2単位 講義形態： 講義
講義時期	通 年	実務経験教員による講義の有無： 有	備考：
担当講師	加藤 健一 (県試験研究機関勤務の経験を生かした基礎及び実践までの実務教育を行います。) 増野 和彦 (県試験研究機関勤務の経験を生かした基礎及び実践までの実務教育を行います。)		
授業の達成目標	①特用林産物全般の概要と主な品目の栽培法について知識を修得する。 ②菌類、きのこ栽培、山菜栽培、製炭についての基礎知識を修得するとともに実技によって理解する。		
概要	特用林産物の定義、種類や需給の実態のほか、主な品目の栽培技術や菌類及び製炭の基礎を学ぶ。		
テキスト	「キノコ栽培全科」 農文協、担当教職員作成資料		
参考書	「菌床きのこ栽培障害事例集」 全農長野		
事前事後の学習	事前学習については、各時間の最後に、次回までに学習してくるべき内容を示します。事後学習については、各時間の講義内容を復習するものとします。		
成績評価の基準	評価については次の評価基準を基本としています。 秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している (評点が95点以上で特に優秀な者) 優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある (評点が80点以上95点未満の者) 良：授業の達成目標の水準よりやや上にある (評点が70点以上80点未満の者) 可：授業の達成目標の水準にある (評点が60点以上70点未満の者) 不可：授業の達成目標の水準よりやや下にある (評点が60点未満の者)		
成績評価の方法	原則として筆記試験及び履修態度による評価とする。試験成績の評価は100点法をもって行い、60点未満を不合格とする。試験の成績が60点に達しないときは、原則として1回に限り追試験を認めます。		
メッセージ	特用林産物の多様な世界をご紹介しますとともに、栽培技術や製炭の基礎知識習得を目指します。		
展 開	講義名	講義内容	
1	特用林産概論	1) 特用林産物の定義 2) 特用林産物の種類 3) 特用林産物の需給動向、統計単位	
2	菌類及びきのこ栽培の基礎	菌類におけるきのこの位置付け・きのこカビの違い(実技を含む)	
3	きのこ原木栽培技術	しいたけ等主な原木栽培技術	
4	きのこ林地栽培技術	まつたけ発生の基礎と環境整備	
5	きのこ菌床栽培技術	1) なめこの生理・生態 2) なめこ等主な菌床栽培技術(実技を含む)	
6	山菜・特用樹栽培技術	1) 増殖技術の基礎知識 2) フラビ、クサソテツ等主な山菜の栽培技術 3) クリ等主な特用樹の栽培技術	
7	木炭の特性と用途	1) 木炭の種類、需給動向 2) 炭化のしくみと木炭の性質、用途 3) 木酢液の性質と利用	
8	試験		



番号	41		
専門教育科目	共通科目	森林政策	
授業名	林政学	対象学年： 1学年	単位数： 2単位 講義形態： 講義
講義時期	後期	実務経験教員による講義の有無： 無	備考：
担当講師	三木 敦朗		
授業の達成目標	森林・林業政策の歴史と現状、未来への課題を学び、説明できるようになる		
概要	授業の前半は『白書』講読、後半はそれに関連する講義とする		
テキスト	『森林・林業白書』林野庁編 『市民の森林政策学（仮題）』三木敦朗（講義内で配布）		
参考書			
事前事後の学習	事前学習については、各時間の最後に、次回までに学習してくるべき内容を示します。事後学習については、各時間の講義内容を復習するものとします。		
成績評価の基準	<p>評定については次の評価基準を基本としています。</p> <p>秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している（評点が95点以上で特に優秀な者）</p> <p>優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある（評点が80点以上95点未満の者）</p> <p>良：授業の達成目標の水準よりやや上にある（評点が70点以上80点未満の者）</p> <p>可：授業の達成目標の水準にある（評点が60点以上70点未満の者）</p> <p>不可：授業の達成目標の水準よりやや下にある（評点が60点未満の者）</p>		
成績評価の方法	筆記試験および受講態度で評価し、100点中60点未満を不可とする。試験の成績が60点に達しないときは、原則として1回に限り追試験を認めます。		
メッセージ	これからの林業を担い、市民に新しい森林活用方法を提案していくのはみなさんです。それを目指して、ともに学びましょう。		
展開	講義名	講義内容	
1	イントロダクション	森林政策の基礎用語	
2	〃	森林政策の歴史	
3	森林管理と山村	森林所有の変遷	
4	〃	山村社会と市民	
5	林業と林業労働	林業労働と林業機械	
6	〃	主伐・再造林化の課題	
7	木材・林産物利用	木材の需要と供給の変化	
8	〃	特用林産物の利用	
9	国有林と災害からの復興	国有林の制度	
10	〃	災害と環境	
11, 12	森林・林業に関わる時事問題	森林・林業をめぐる新しい動き	
13, 14	講義の振り返り	新しい森林・林業をめざしての考察	
15	試験		

番号	42		
専門教育科目	共通科目	森林政策	
授 業 名	林業概論	対象学年： 1 学年	単位数： 2 単位 講義形態： 講義
講義時期	通 年	実務経験教員による講義の有無： 有	備考：
担当講師	中宿 恵司 (県職員の経験を生かした基礎及び実践までの実務教育を行います。)		
授 業 の 達 成 目 標	森林・林業の基本を理解する。		
概 要	森林の働き、人との関わり、そして育成から利用までの森林・林業に関する総合的な授業		
テキスト	長野県林務部業務概要 講師作成資料		
参 考 書	「山に教育あり」 市川圭一著 清文社 森林・林業白書		
事前事後の学習	事前学習については、各時間の最後に、次回までに学習してきておくべき内容を示します。事後学習については、各時間の講義内容を復習するものとします。		
成績評価の基準	<p>評定については次の評価基準を基本としています。</p> <p>秀：授業の達成目標の水準から見て卓越している (評点が95点以上で特に優秀な者)</p> <p>優：授業の達成目標の水準よりかなり上にある (評点が80点以上95点未満の者)</p> <p>良：授業の達成目標の水準よりやや上にある (評点が70点以上80点未満の者)</p> <p>可：授業の達成目標の水準にある (評点が60点以上70点未満の者)</p> <p>不可：授業の達成目標の水準よりやや下にある (評点が60点未満の者)</p>		
成績評価の方法	原則として筆記試験及び履修態度による評価とする。試験成績の評定は100点法をもって行い、60点未満を不合格とする。試験の成績が60点に達しないときは、原則として1回に限り追試験を認めます。		
メッセージ	森林と人々との関わりについて学び、今後の森林・林業を考えましょう。		
展 開	講義名	講義内容	
1~7	はじめに 多様な森林 森林の役割 林業の担い手 林業に関係する基本的な法律 森林に関する税制度	<p>森林の成り立ちと林業の現状</p> <p>世界の森林、日本の森林 長野県の森林 木曾の森林</p> <p>森林の持つ多面的機能</p> <p>林業生産活動を支える人、組織の実態</p> <p>森林・林業基本法 森林法</p> <p>森林環境税・譲与税、長野県森林づくり県民税</p>	
8~14	林業現場の視察等	<p>森林育成現場 (赤沢自然休養林 水木沢天然林等)</p> <p>素材生産現場</p> <p>木材市場</p> <p>特用林産産地</p> <p>森林空間利用 等</p>	
15	試 験		